



I 第29週の発生動向 (2026/7/13~2026/7/19)

- 手足口病について、東津軽+青森市保健所管内の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となり、三戸+八戸市保健所管内で**警報**が継続しています。
- 水痘について、中南保健所管内の注意報は**解除**となりました。
- 日頃から手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「梅毒」です。

最終ページに掲載しています。

II 第29週五類定点把握対象疾患

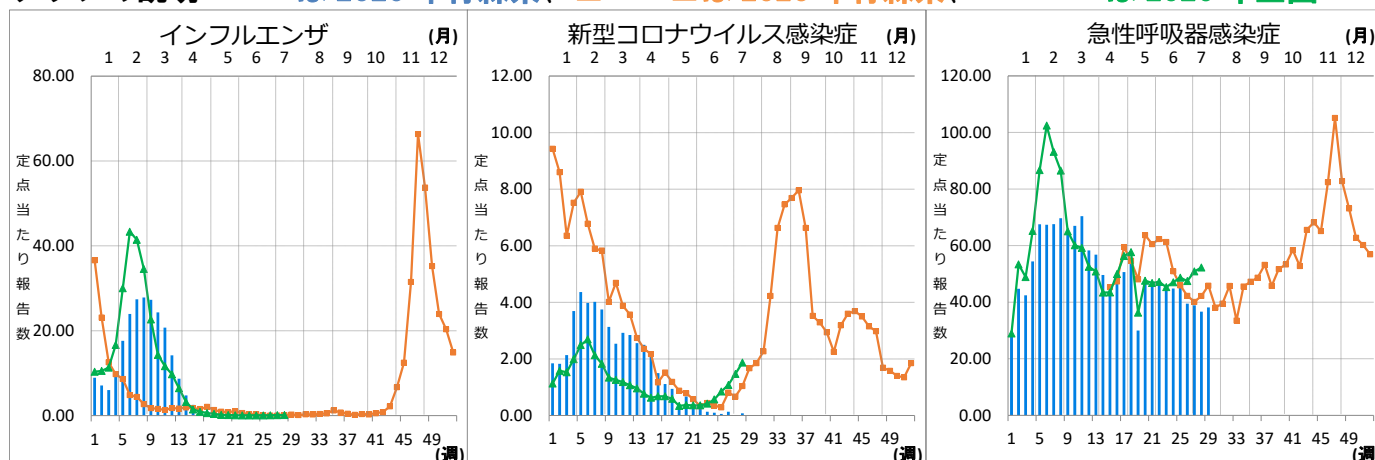
※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	14	1.27	13	1.30			14	2.33	2	0.22			43	0.83	23
	新型コロナウイルス感染症					1	0.10							1	0.02	-3
	急性呼吸器感染症	630	57.27	320	32.00	252	25.20	192	32.00	282	31.33	307	51.17	1983	38.13	78
小児科	RSウイルス感染症															-8
	咽頭結膜熱	1	0.17	2	0.33	3	0.43			1	0.17			7	0.21	-1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.67	6	1.00	6	0.86	2	0.40	4	0.67	3	0.75	25	0.74	-11
	感染性胃腸炎	5	0.83	11	1.83	21	3.00	8	1.60					45	1.32	-6
	水痘			4	0.67	1	0.14					1	0.25	6	0.18	-6
	手足口病	49	8.17	25	4.17	43	6.14	11	2.20	16	2.67	5	1.25	149	4.38	45
	伝染性紅斑											1	0.25	1	0.03	0
	突発性発しん					2	0.29							2	0.06	-7
	ヘルパンギーナ	13	2.17	12	2.00			24	4.80	2	0.33	4	1.00	55	1.62	36
	流行性耳下腺炎			1	0.17	1	0.14			1	0.17			3	0.09	3
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	-1
	無菌性髄膜炎															0

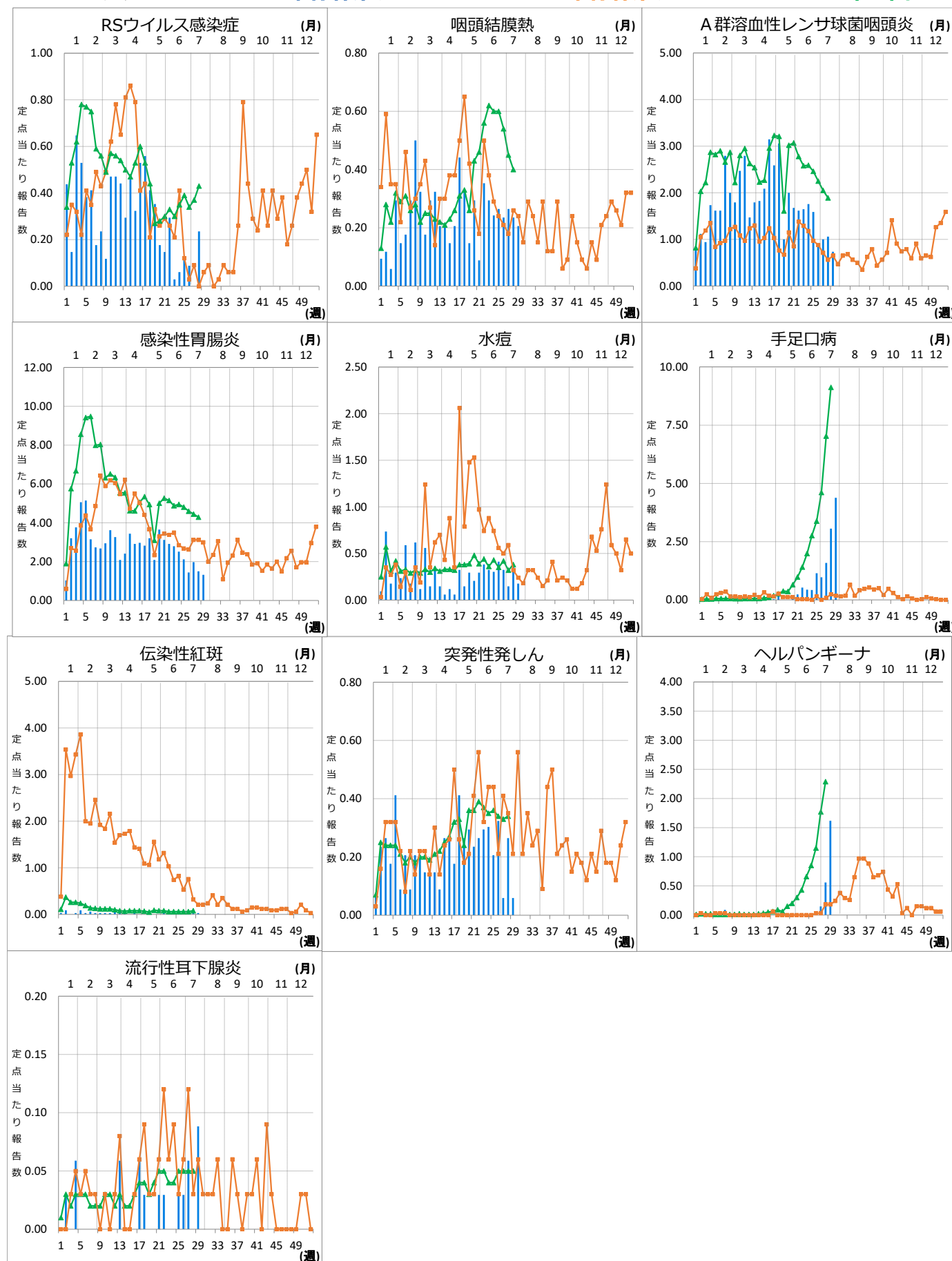
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026年第29週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は 2026年青森県、 は 2025年青森県、 は 2026年全国

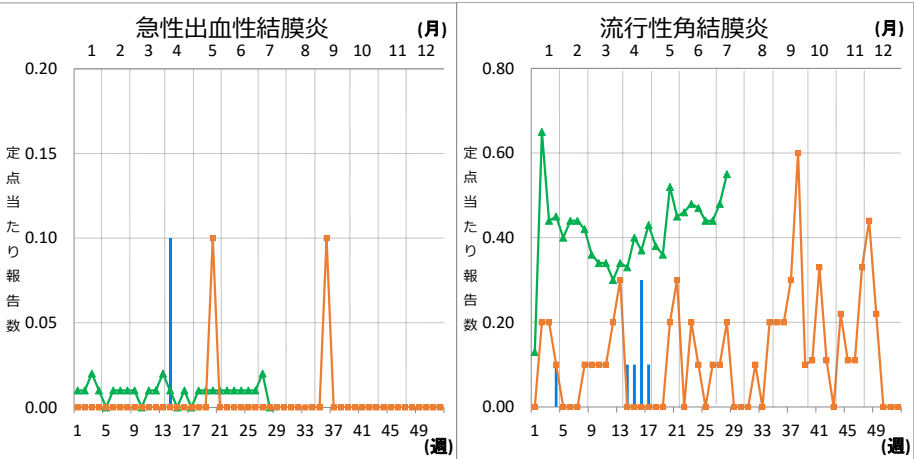


Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026 年第 29 週、ただし全国は前週）

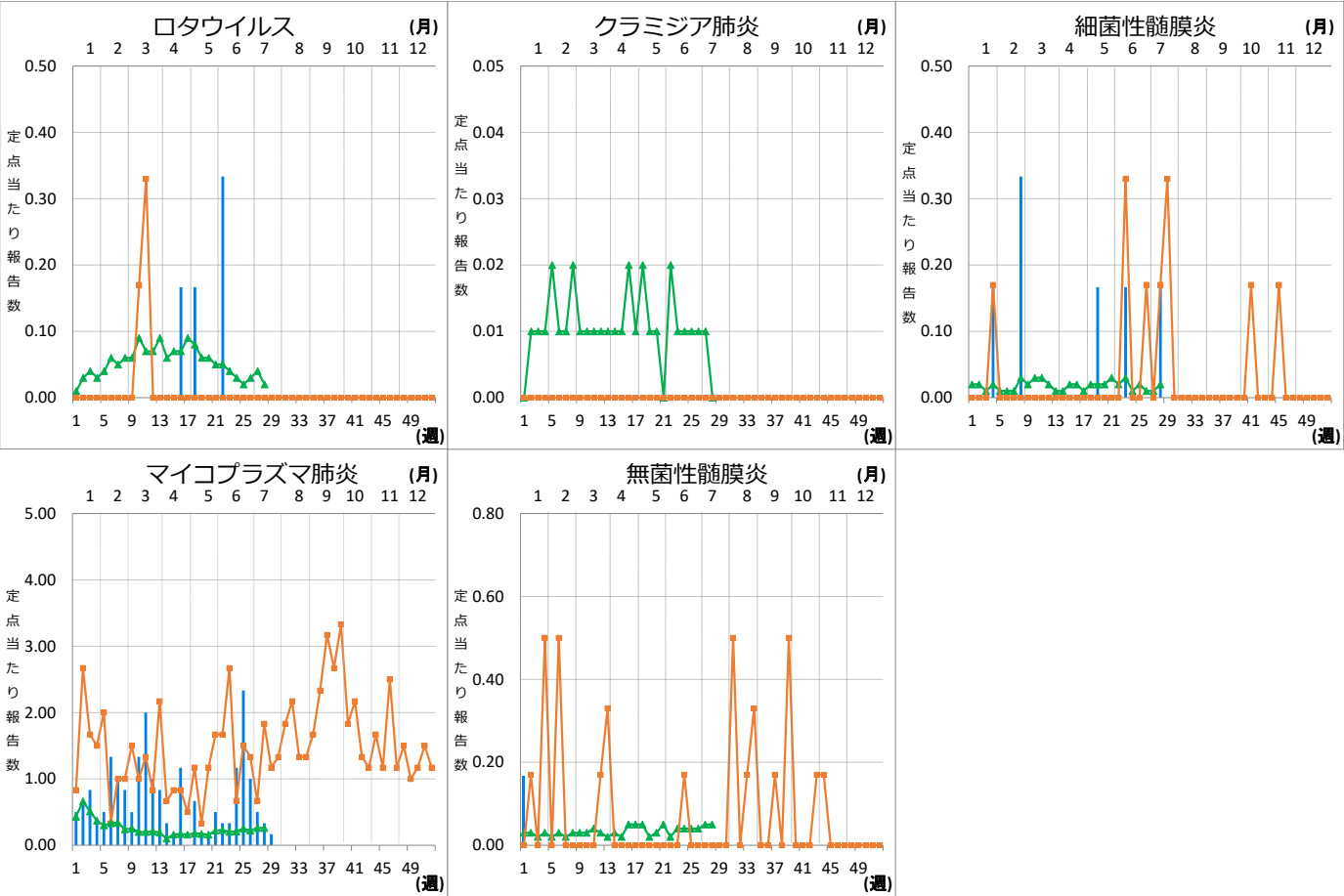
グラフの説明  は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026 年第 29 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉**——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国**



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026 年第 29 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉**——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国**



Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

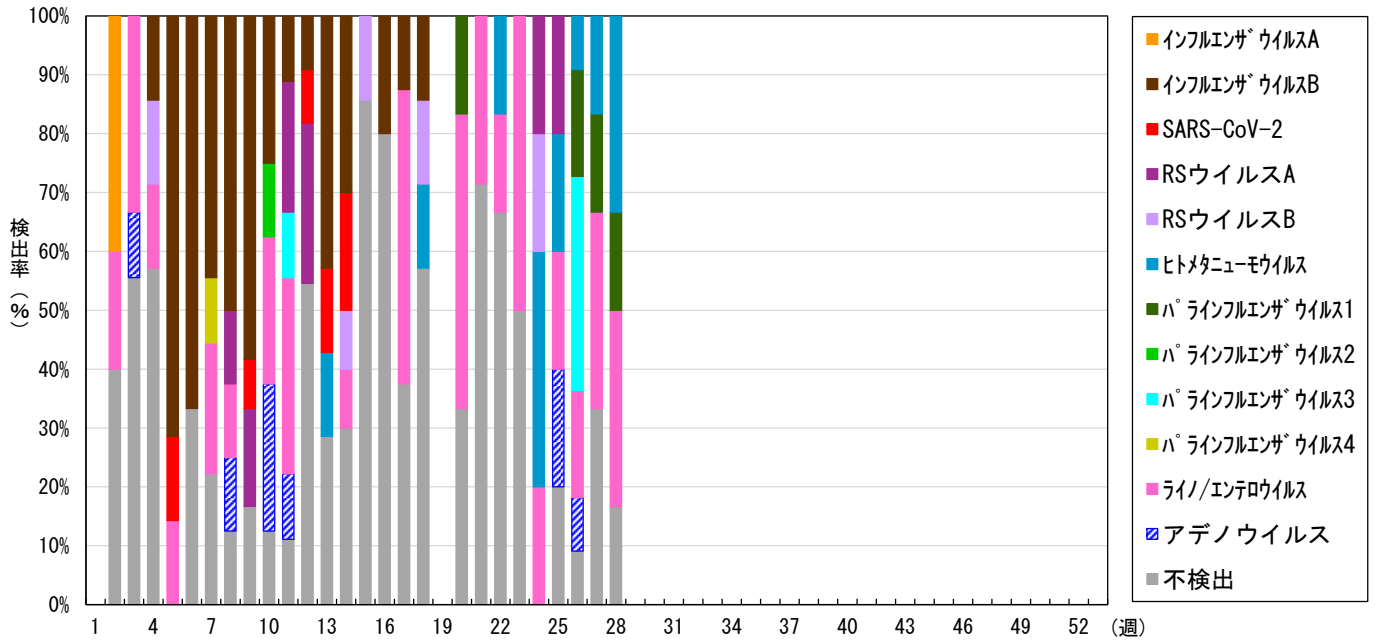
(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026 年第 22 週～29 週)

急性呼吸器感染症	2026年							
	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週
提出検体数	6	8	5	5	8	6	5	5
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスA	0	0	1	1	0	0	0	
RSウイルスB	0	0	1	0	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	1	0	2	1	1	1	2	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	2	1	1	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	4	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	1	4	1	1	2	2	2	
アデノウイルス	0	0	0	1	1	0	0	
不検出	4	4	0	1	1	2	1	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	5

※第26週に提出された検体のうち、パラインフルエンザウイルス3及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが2検体、パラインフルエンザウイルス3及びヒトメタニューモウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第28週に提出された検体のうち、ヒトメタニューモウイルス及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026 年第 1 週～28 週)



VIII 全数把握対象疾患発生状況（第 29 週）

- ・結核（二類感染症）：青森市 2 人、中南 1 人、八戸市 1 人（2026 年計： 58 人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：中南 1 人（2026 年計： 15 人）
- ・梅毒（五類感染症）：青森市 1 人（2026 年計： 12 人）

IX 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026 年第 26 週～2026 年第 29 週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
26	梅毒1人	結核2人 侵襲性インフルエンザ菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	結核1人 腸管出血性大腸菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人 百日咳1人			結核1人
27	つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人	結核1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 梅毒1人 百日咳1人	結核2人	結核2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	結核1人
28		結核1人 百日咳2人	結核1人 水痘（入院例）1人	結核1人	つつが虫病1人	
29	結核2人 梅毒1人	結核1人 腸管出血性大腸菌感染症1人	結核1人			

第 28 週に八戸市保健所管内で水痘（入院例）1 人の届出がありましたので追加しました。

第 28 週に青森市保健所管内で届出のあったカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 人については、取り下げになりましたので削除しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026年第1週～第28週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス	オウム病
累積報告数	7734	41	1560	21	11	378	158	8	80	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	レジオネラ症
累積報告数	3	5	104	2	61	44	225	2	23	1213
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	4	272	114	527	11	263	5	82	723	514
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	多剤耐性緑膿菌感染症	梅毒	播種性クリプトкокクス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	23	318	35	1676	478	102	6116	93	52	47
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	3689	3	547	9						

青森県（2026年第1週～第29週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	58	2	15	3	3	1	1	5	2	8
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類				
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	百日咳				
累積報告数	1	5	12	7	12	23				

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅺ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026 年第 29 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第29週	報告なし		

2026 年報告件数及び発症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月					8月	9月	10月	11月	12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27週	28週	29週	30週	31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	6	2	3	0	0	0	0								15
	発症者数	37	44	69	23	42	0	0	0	0								215
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	1	3	4	1	0	0	0								13
	発症者数	92	0	30	73	63	10	0	0	0								268
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0	0	0	0	0								2
	発症者数	20	0	18	0	0	0	0	0	0								38
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0								0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0								0
計(月別)	件数	7	2	8	5	7	1	0										30
	発症者数	149	44	117	96	105	10	0										521

感染症の窓

梅毒は、梅毒トレポネーマの感染により引き起こされる感染症です。近年、国内の梅毒の報告数が急増しており、2022 年以降は年間 10,000 例を超えています。

感染すると、2～4 週間程度の潜伏期間の後、性器や口の中等にしこりや潰瘍ができたり、鼠径部のリンパ節が腫れることがあります。感染から3ヶ月程度経過すると、手のひら、足の裏、体幹部などに「バラ疹」と呼ばれる淡い赤色の発疹があらわれます。多くの場合治療しなくても症状は軽快しますが、その後も放置していると、数年から数十年の間に心臓や血管、脳など複数の臓器に病変が生じ、時には死に至ることもあります。

梅毒は、早期の適切な抗菌薬による治療で完治が可能です。治療が不十分だと病気が進行することもあるため、症状が良くなっても自己判断で治療を中断しないことが重要です。

また、妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通じて胎児にも感染し、死産や早産、生まれてくる子どもの神経や骨などに異常をきたすことがあります。妊娠中においても、早期の治療により胎児への感染リスクを下げることができます。

梅毒は、主に性行為などの性的接触によって、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。性行為の際は、コンドームを適切に使用しましょう。また、梅毒が疑われる症状や感染の心当たりがあるときは、検査を受けましょう。県内保健所のエイズ相談専用電話でエイズを含む性感染症の電話相談を受け付けていますので、まずはお気軽にご相談ください。

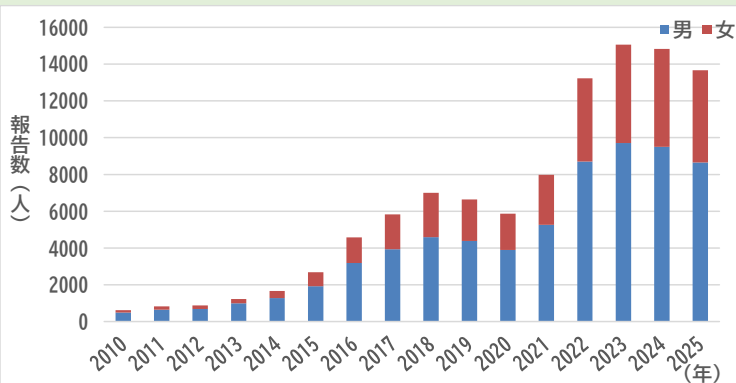
○詳しい情報はこちらをご覧ください。

[梅毒（厚生労働省 HP）](#)



梅毒（厚生労働省） 相談・検査（青森県）

梅毒



国内における梅毒報告数の推移 (2010～2025 年)